

就活で問われることは、 学生時代の学び、生活の中で培われる

学生部長

なかにし あかね

現4年生・院2年生は、今年から就職活動のスケジュールが大きく変更になりました。今年度から3年生の3月会社説明会・会社訪問、4年生の8月選考開始と大きく後ろ倒しになりました。従来は、それぞれ12月～4月でした。学生にとっては、長丁場の就職活動を余儀なくされ、企業にとっては手探りのまま、大変苦労の多い年となりました。

次年度、このスケジュールの見直しが行われるかもしれません。企業の人事採用担当者に、どのような人材を求めていますかとよくお聞きします。多くの担当者の方は、「元気で明るく、コミュニケーションが取れる学生」と言われます。これをもう少し深めて考えますと、

- 元気で明るい⇒元気に明るく“振る舞う”ことができる
- 元気で明るく⇒元気で明るく“挨拶”ができる
- コミュニケーション⇒積極的に人の話に耳を傾けて“聴く”、自分の思いを“伝える”

という『意志の力』の問題になります。実はこれらの『力』は、学生時代の研究・課題、ゼミ、サークルなどの諸活動や家庭の中で培われているものなのです。企業の担当者は、普段の生活でどのような成長をしてきたのか、を見極めていえます。

大学のキャリア(就職)支援は、学生の普段の学び・生活を支援することから始まっているのだ、という強い信念を持って、教職員一致協力して取り組んでいます。



現3年生向けのインターンシップに関するガイダンス風景



現4年生向けに実施されている学内合同説明会の風景



宮城学院女子大学後援会会報

MIYAGI GAKUIN SUPPOTERS REPORT

vol.2



保護者の皆様へ

後援会会長
三井 精一

後援会会報第2号発行に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、後援会活動に、多大なご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、後援会活動につきましては、5月の総会で承認頂きました計画のとおり、ほぼ順調に進展しております。特に力を入れましたのは、大学とご家庭の連絡を密にすること、就職をキーワードとすることです。

主に実施した項目は

1. 総会時の音楽科の演奏会と就活の為の講演会であります。

先ず音楽科の音楽とパイプオルガンの演奏には、その素晴らしさに感動したと声があり、また会長の講演では就活するに際しての、親御さんと学生のあり方について、私の経験と面接で得た知識で、短い時間でしたが、雇う側の人間として、種々アドバイスさせて頂きました。概ね満足の頂ける内容であったと自負しております。保護者の皆様は、女子大学ということもあり、木目細やかで、丁寧な対応を望んで

おられます。総会は保護者の皆様の出席が一番多い行事であり、寄せられた意見を参考にして、次年度以降、より一層充実させていきたいと考えています。

2. 次に地区後援会の開催であります。

地区後援会は、今年度の活動計画の重要な項目の一つであります。大学や後援会活動の近況報告、そして就職状況や学生の就職活動体験発表、更に相談コーナーでの面談等が、実施されました。女子学生を親元から離れているという不安をお持ちの保護者のお気持ちを和らげる機会にもなりました。特に保護者の方々からは、大学の教授・先生方が身近に感じられ、とても良かったとの意見が多くありました。私達後援会役員も全地区を訪問し、最後まで保護者の皆様と会話出来たことが、何よりも良かったと思っています。

今年から就職活動が従前と違って4ヶ月遅れとなり「短期決戦」型となりましたが、結果的に、このことが、企業側・学生側両者にとって、あまり評判の良いものでなかったのも事実です。後援会としても今後の動向を注視してより良いアドバイスが出来るようにしていきたいと思えます。

最後に宮城学院女子大学は、来年4月より新学部が開設され4学部9学科となります。このように大学は常に先を見据え、教育環境の充実と発展を目指し、社会のニーズに応える努力をしています。

また9月には創立130周年を迎えます。保護者の皆様には、ご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

保護者の皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶と致します。



宮城学院カラーについて

学長・後援会顧問
平川 新

先日、大学からタクシーに乗ったときのことです。運転手さんが、宮城学院の学生さんはとても礼儀正しいですねえ、と話しかけてきました。数日前まちなかで若い女性を乗せたのですが、話しかけても嫌がらず、とても礼儀正しい人だったので、どちらの学生さんですか?と聞いたところ、宮城学院ですと答えたので、やはりなあと思ったそうです。宮城学院の学生さんは感じの良い人が多いと思います、ということでした。その日は一日とても気持ちよく過ごせましたよ、とも言っておられました。

私の知人の息子さんの結婚相手が本学の卒業生だったのですが、その知人いわく、宮城学院らしい雰囲気、とてもやさしい嫁さんなんですよ、とメロメロの様子でした。たにかわいいというだけではなく、宮城学院らしい、というのがポイントです。もうひとつ付け加えておき

ましよう。昨年、新学部の紹介で宮城県内の高校回りをしたときのことです。ある校長先生から、わが校には宮城学院出身の先生がいますが、まじめで落ち着いていて安心感があり、優秀です、生徒たちからも信頼されていますよ、と言われました。別な校長先生も、宮城学院出身の先生は宮城学院らしい雰囲気がありますねえ、と話してくれました。もちろん、ほめ言葉です。

こうした話を聞きますと、宮城学院らしさというのがあるのだなあと思わざるをえません。4年間の学生生活のなかで、自然に宮城学院カラーというものが身についていくということなのでしょう。どんなカラーなのだということも、なぜそうしたカラーになるのかということも、説明はむずかしいですね。もちろん学生全員がそうだということではありません。しかし、たしかに宮城学院カラーはある、ということだと思います。

みなさんにお伝えしたいことは、そうした人格形成を可能にする学びと生活の場が、この宮城学院にはある、ということです。学業やクラブ活動とおしての友人や教師との交わり、隣人愛と奉仕の精神をモットーとするキリスト教的文化環境など、さまざまな要素がからみあって宮城学院カラーが生み出されているのではないのでしょうか。保護者のみならず、お嬢様が宮城学院カラーに染まりつつあるかどうか、やさしく見守っていただければと思います。

キャンパスレポート
Campus Report

大学祭が 開催されました

オープニング

ウィンドオーケストラ

模擬店

よさこい

10月17日・18日の両日、大学祭が開催されました。今年のテーマは『舞』～踊り終わらない私たち～で、「舞い上がる花びらのように学生ひとりひとりが力強く活動し、お客様もそんな学生に感化されるような大学祭を」という願いをこめました。両日とも天候にも恵まれ、大盛況の内に幕を閉じました。たくさんの方々にご来場いただき、どうもありがとうございました。

チアリーディング

音楽科文化系Music of Earth

茶道部

前日仮装パレード



宮城学院女子大学後援会事務局 (大学事務部教育研究支援グループ庶務担当内)

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
TEL 022-279-4698 FAX 022-279-7566 E-mail syomu@mgu.ac.jp

2015年度後援会総会が開催されました

5月30日(土)、2015年度大学後援会総会が新緑薫る宮城学院女子大学のキャンパスで、開催されました。当日は約300人の保護者の方々にご参加いただき、午前中に開催された音楽科によるミニコンサートでは礼拝堂がたくさんの人で埋め尽くされ、ステンドグラスから差し込む光の中、美しい歌声とパイプオルガン、ヴァイオリンの響きをお楽しみいただきました。

午後からは総会が行われ、三井精一会長の議事進行で、2014年度事業報告、収支決算報告、監査報告、2015年度事業計画、収支予算、役員を選任について提案がなされ、すべての審議が承認されました。なお、新副会長に内海祥子氏、新監事に高橋博氏、畠山真紀子氏が選任され、退任される白木福次郎副会長から挨拶がありました。

総会終了後は、三井会長による『就活は今日がスタートです』と題した講演・学生部長による就職状況報告が続き、その後は各学科に分かれて先生方とのクラス懇談会が行われました。また、就職個別相談会にも多数の方が訪れ、充実した一日になりました。



ミニコンサート

普段ほぼ入る機会のない礼拝堂で練習を長く積んだ方々の演奏を聴けて大変有りがたいです。雑多な日常から離れた素敵な時間でした。



本学礼拝オルガニスト戸田彩子氏によるパイプオルガンと音楽科学生による美しい歌声、ヴァイオリンの響きをお楽しみいただきました。



総会

三井会長による議事進行



白木副会長による退任のご挨拶

昼食に頂いたお弁当、とても美味しかったです。学生たちが参加するこのような企画、良いですね。

昼食



食品栄養学科(平本ゼミ)の学生がプロデュースしたお弁当を昼食としてご利用いただきました。

長く企業人としてキャリアを積まれた会長のお話は、昔にもこれからも通じる人材に必要な基本的なお話で、大変参考になりました。

講演



仙台銀行相談役をされている会長より『就活は今日がスタートです』と題して、企業の面接で得た経験を織り交ぜながら就活をする際の保護者と学生のあり方などについて講演いただきました。



就職個別相談会



学生サポートセンターでは、就職に関する個別相談会が行われ、多くの保護者に参加いただきました。

学生部報告



なかにし学生部長により本学の就職状況などの報告をいたしました。

学科クラス懇談会



総会終了後、各学科に分かれ、担当の先生と懇談いただきました。

1年生ですので具体的な就職のプランはまだありませんが社会人となるためのカリキュラム・セミナーが用意されている様子。ぜひ体験させたいと思います。

地区後援会

2015年度の宮城学院女子大学地区後援会が、東北地区の5会場(8/22盛岡市、8/23青森市、8/29福島市、9/6秋田市・山形市)で開催されました。

地区後援会は二部構成で行われ、まず第一部では、後援会役員から大学後援会の近況報告、昼食をとりながら教員からの新学部・学科の説明を交えた大学の近況報告、就職担当者からの本学の就職(キャリア)支援や就職状況の説明などがありました。その後は、ジュ

ニアアドバイザー(内定を獲得した4年生)が、自身の就職活動の様子などを発表しました。保護者の方々の関心も高く、熱心に学生の体験談に耳を傾けられていました。

第二部では、「個別相談会」が行われ、学業や学生生活、就職など大小さまざまな疑問や質問を担当職員と向き合いながら相談や説明を受けておられました。

保護者アンケートより

同じテーブルに着いた親御さん、先生方とお話ができて、大学との関わりが深まった気がします。

新学部編成に伴う不安を取り上げて説明していただき、在学生としてありがたく思いました。

キャンパスデザインの話は子供に伝えます。キャリアアップセミナーは参加するように話しています。お二人の学生さんのお話になりました。落ち着いていますね。

毎年参加していますが、今回の学生の就活のお話は娘も4年生のためとても参考になりました。ありがとうございました。



岩手地区



青森地区



福島地区



秋田地区



山形地区



130周年記念事業大学企画について

来年度、本学院創立130周年を迎えるにあたり、学校法人全体として地域・卒業生および保護者の皆様への感謝を込めて、記念行事を実施するとともに今後に向けた教育研究の拡充につながるような記念事業を進める計画をしております。

大学が企画する記念行事は、大学後援会より助成金をいただき、実施運営してまいります。そして、教職員だけでなく、学生も参加し、保護者の皆様や地域の方々にも開かれたものとなるようにと考え、多くの保護者の皆様に参加いただけるよう工夫をしておりますので、よろしくお祈りいたします。詳細は大学ホームページへ掲載するほか、大学後援会行事の折にもご案内させていただきます。現時点では、来年度11月24日から11月30日まで市中心部にある仙台メディアテーク5階で学校法人が企画する『星野富弘詩画展』などと並び、「宮城学院女子大学の今(仮称)」として展示、講座、ワークショップなど大学や学生の活動を紹介する企画を準備し、大学のキャンパスにおいては、創立記念日(9月18日)に数千人規模の「大食卓会」、礼拝堂でステンドグラスに関連する学術シンポジウムや作品展

示なども予定しており、例年各学科や研究所などで実施している講演会やシンポジウム、大学祭や年末に実施しているクリスマスマーケットなども130周年にふさわしく拡充して行うことを計画しております。

また、記念行事のほかに、大学部門においては、130周年を迎える2016年4月にこれまでの学芸学部1学部10学科から現代ビジネス学部および教育学部ならびに生活科学部を新たに設置し、学芸学部を5学科に再編することにより4学部9学科の大学設置以来の大幅な改組転換および改革を行います。

そのほか、記念事業として、2016年度後半には幼保連携型認定こども園の園舎新築を行い、さらに修学支援のための奨学金の充実および教育環境整備や施設設備の拡充とともに学術情報館の設置を計画しております。

皆様には、2017年度までの期間で記念事業募金の寄付にご協力いただいておりますことあらためて感謝申し上げます。今後とも、本学の教育にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。